

# tips (day5)

青木 聖也

多摩美術大学情報デザイン研究室

August 8, 2017

# Contents

まずははじめに

展示の自動化について

macOS 自動起動・シャットダウン

アプリの自動起動・終了

物理タイマーの利用

# 資料について

今回の資料を以下に公開しています

- ▶ 全体説明: <http://scottallen.ws/tamabi/summerworkshop2017>
- ▶ スライド:  
<https://github.com/5c0tt411en/iddsummerworkshop2017/blob/master/Slide/>

# macOS 自動起動・シャットダウン

## 自動起動の利点

- ▶ 仕様書にて学芸員やスタッフの方に起動してもらう必要がない
- ▶ 立ち上げ・立ち下げ忘れなどのミスがない

# macOS 自動起動・シャットダウン

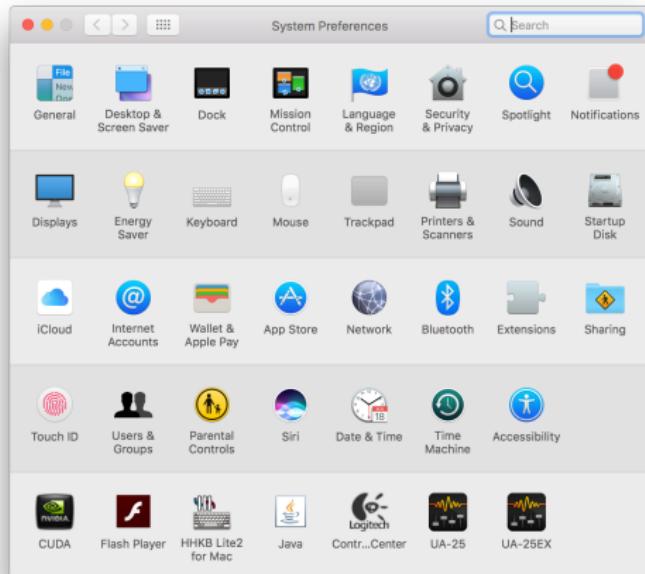


Figure 1: システム環境設定

# macOS 自動起動・シャットダウン

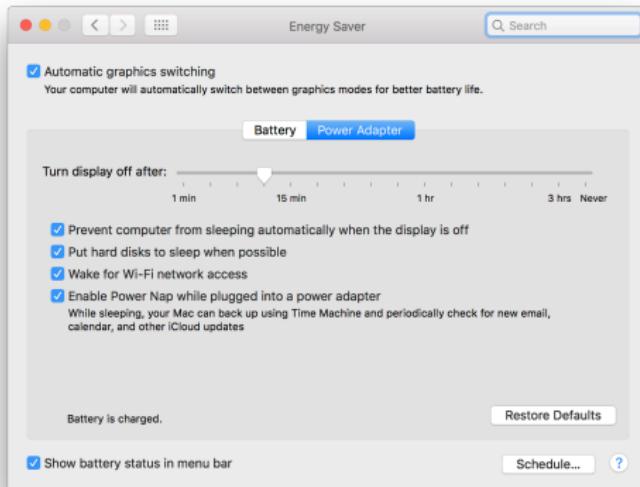


Figure 2: 省エネルギー

# macOS 自動起動・シャットダウン

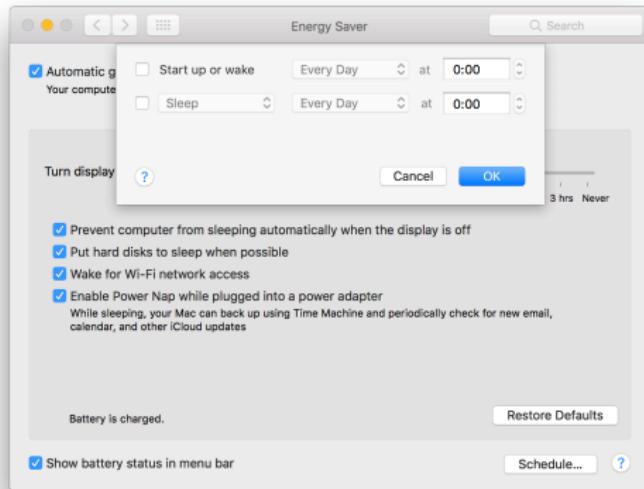


Figure 3: スケジュール

# macOS 自動起動・シャットダウン

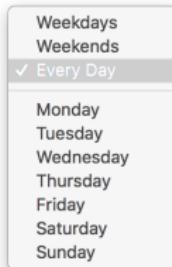


Figure 4: 頻度設定

# macOS 自動起動・シャットダウン



Figure 5: シャットダウン設定

# macOS 自動起動・シャットダウン

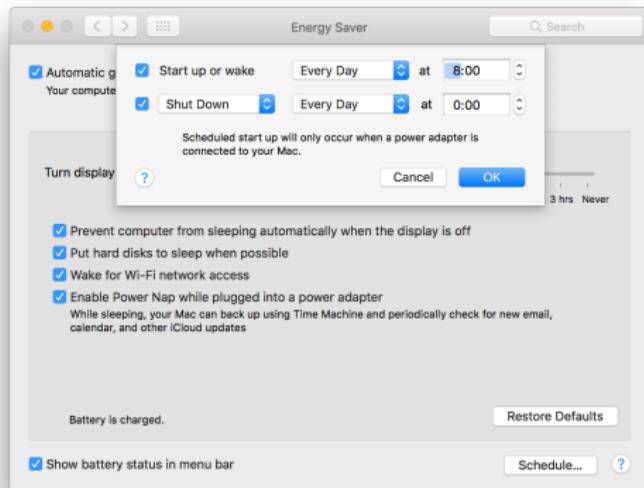


Figure 6: 最終画面

# アプリの自動起動・終了

## アプリ自動起動・終了の意義

- ▶ 決まった時間に決まったアプリによって処理を実行できる
- ▶ アプリ起動の順番を指定してうまく連携できる

# アプリの自動起動・終了

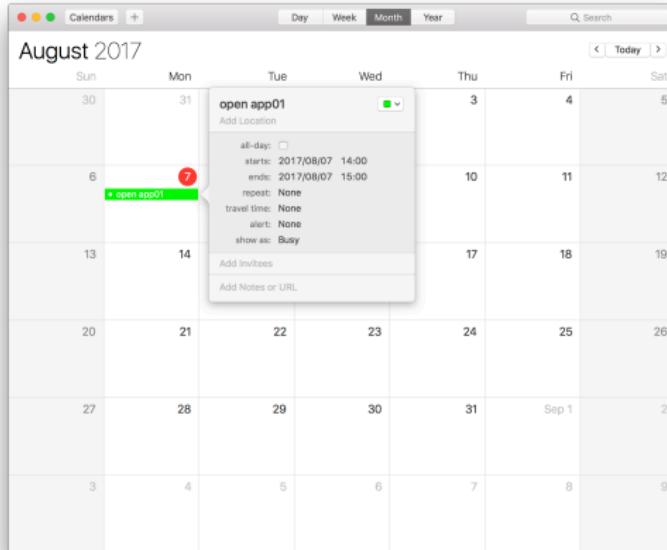


Figure 7: 新規予定作成

# アプリの自動起動・終了

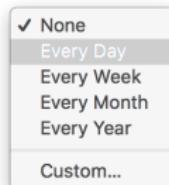


Figure 8: 繰り返しを設定

# アプリの自動起動・終了

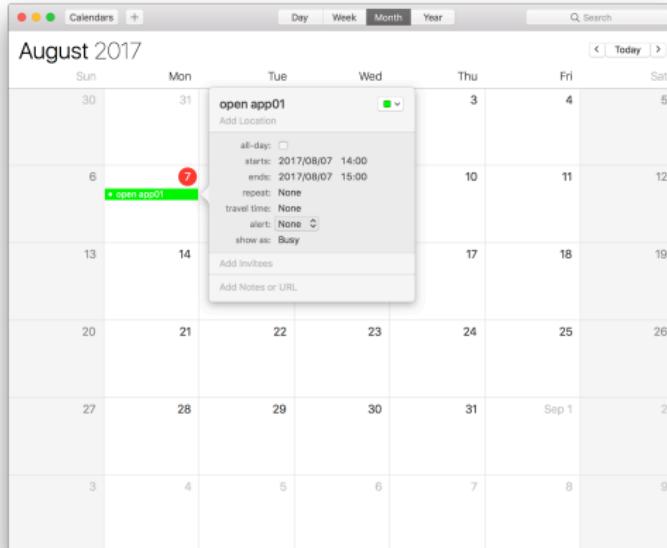


Figure 9: 通知を選択

## アプリの自動起動・終了



Figure 10: カスタムを選択

# アプリの自動起動・終了



Figure 11: ファイルを開くを選択

# アプリの自動起動・終了

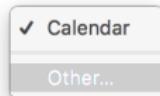


Figure 12: その他

# アプリの自動起動・終了

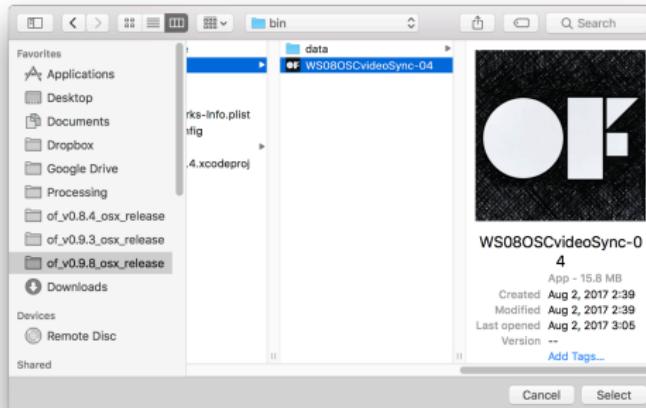


Figure 13: 立ち上げたい制作したアプリを選択

# アプリの自動起動・終了

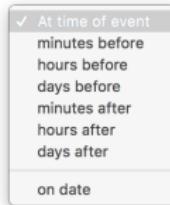


Figure 14: イベントの時間に設定

# アプリの自動起動・終了

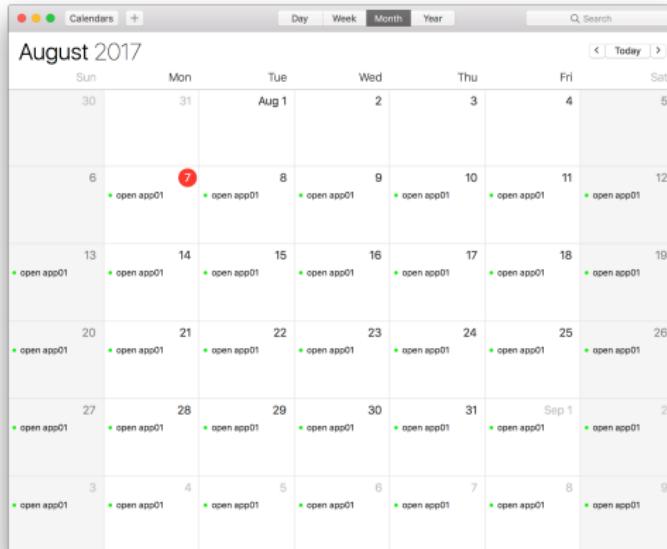


Figure 15: 結果

# アプリの自動起動・終了

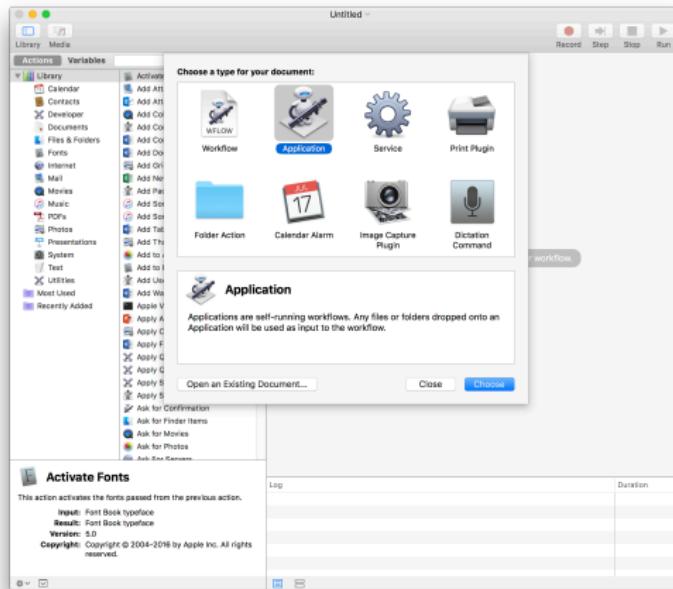


Figure 16: automator を開く

# アプリの自動起動・終了

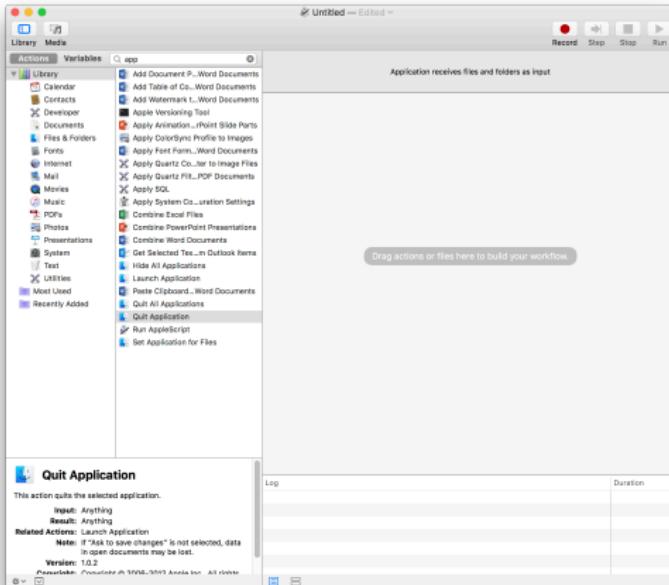


Figure 17: アプリの終了を選択

# アプリの自動起動・終了

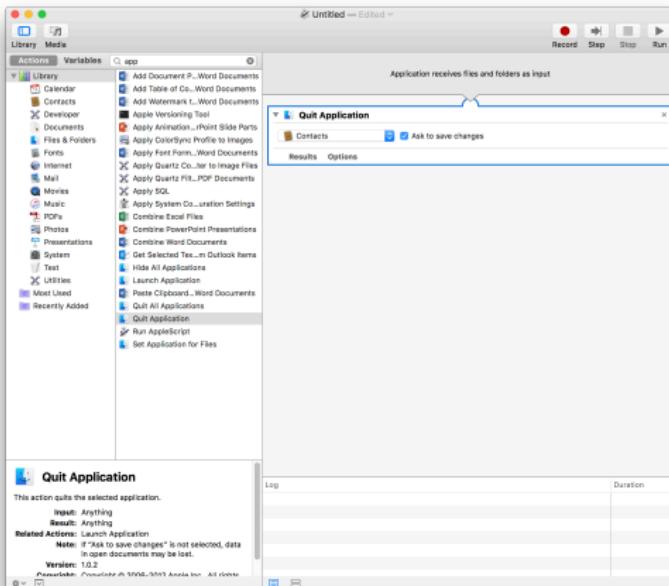


Figure 18: 結果

# アプリの自動起動・終了

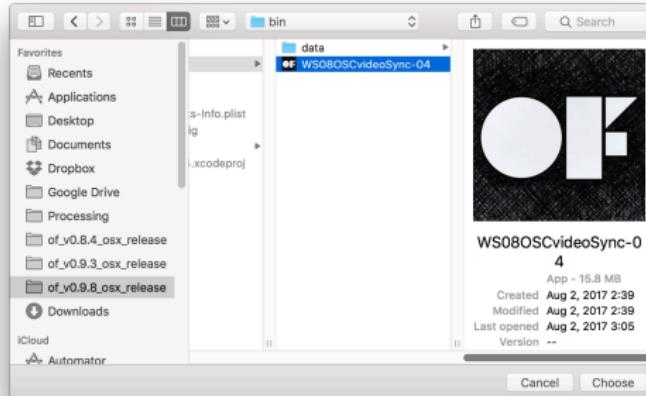


Figure 19: 終了するアプリを選択

# アプリの自動起動・終了

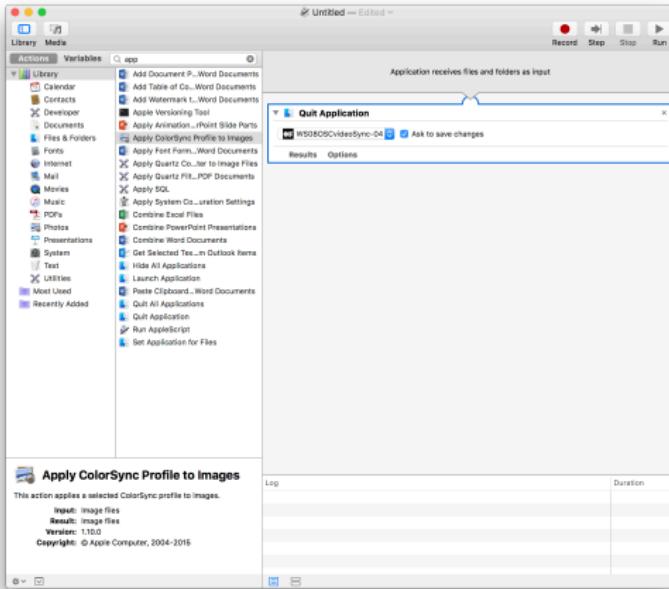


Figure 20: 結果

# アプリの自動起動・終了

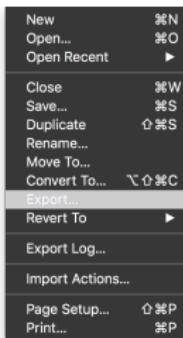


Figure 21: ファイル→書き出し を選択

# アプリの自動起動・終了

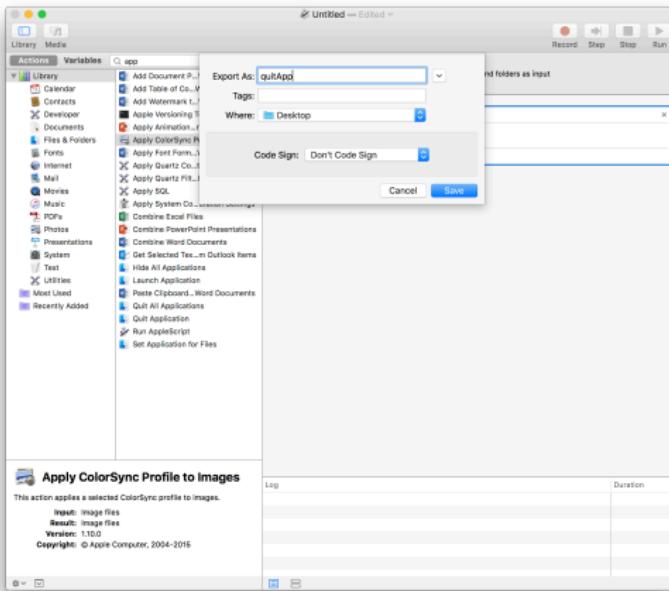


Figure 22: 書き出しアプリ名を決定

# アプリの自動起動・終了

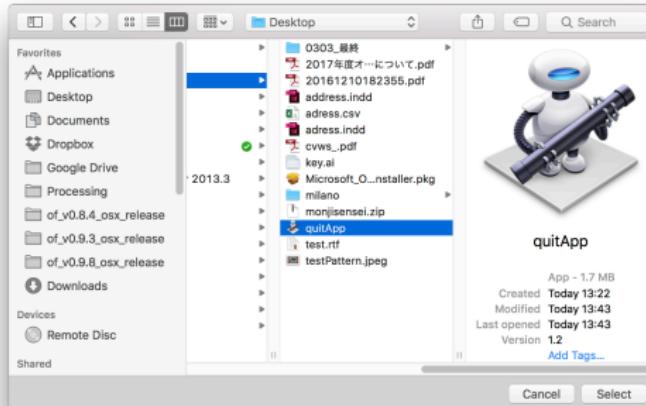


Figure 23: カレンダーで開く制作したアプリを選択

# アプリの自動起動・終了

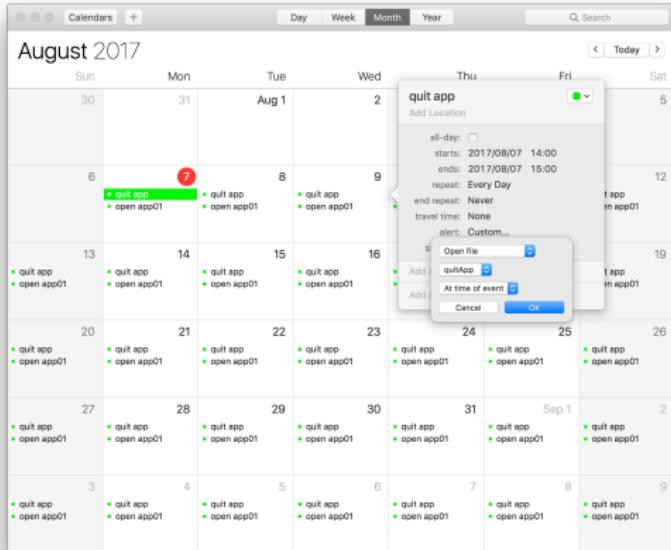


Figure 24: 結果

# 物理タイマーの利用

## 物理タイマーの意義

- ▶ 決まった時間に決まった装置を通電できる
- ▶ 最もシンプル
- ▶ 間接照明, Arduino など用途様々 (ラズパイは不可)

# 物理タイマーの利用



Figure 25: 物理タイマー概観

# 物理タイマーの利用

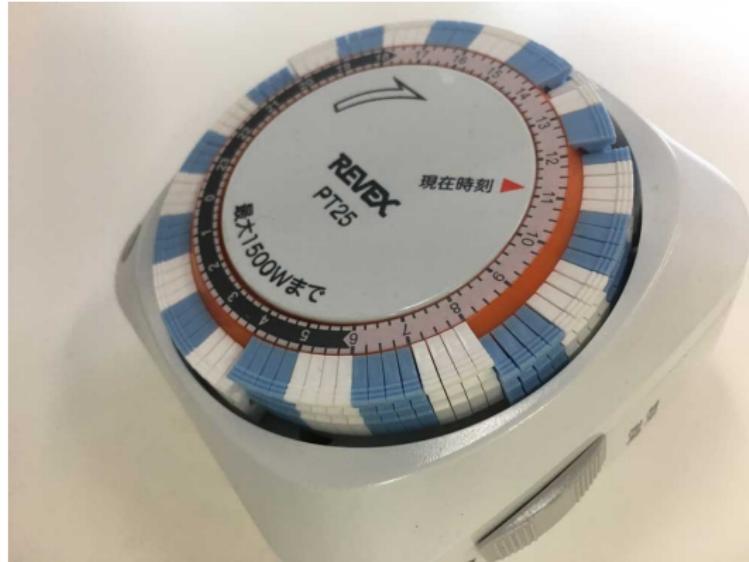


Figure 26: 通電時間指定後